Syllabus
シラバス

２０２６年度

Nagasaki
University
School
of
Dentistry

長崎大学歯学部

歯学部の授業内容は歯科大学学長・歯学部長会議で定めた「歯科医学教授要綱」にそって行われており、さらに授業方法は担当教員一人ひとりの創意、工夫に委ねられている。したがって、それぞれの科目の授業の特色を知って出席することが、授業を実り多いものにするのに欠かせない。

「シラバス」syllabus（授業計画書）とは、学生諸君が初めて出会う授業に戸惑わないよう、その内容や方法をあらかじめ伝え、一方通行ではない、大学らしい授業を行うために各担当者により執筆されたガイドブックである。

ここに盛られているのは、授業の概要及び位置づけ、授業の到達目標、授業の方法、教科書と参考書、成績評価の方法、注意事項、それに順を追った授業計画である。「シラバス」に目を通すことによって、担当教員がこの授業によって何を伝えようとしているのか、どういう進め方をするのか、学生に何を準備して授業に参加してほしいと期待しているかがわかるはずである。授業を受ける前に熟読すれば、効果的な予習の役に立ち、また復習や試験勉強の格好のガイドにもなる。教員の要求する準備をして授業に臨めば、共通のベースに立脚した質疑応答が活発に行われ、双方向的な授業の展開が可能になるだろう。

さらに、全学的な授業評価アンケートも実施しているので、学生側からの意思表示もより明確にできると考える。

なお、臨床実習を開始するに十分な知識の有無を問う共用試験（CBT・OSCE）は、教育ガイドラインである歯学教育モデル・コア・カリキュラムに対応し実施されている。

臨床実習に関しては、別に用意した詳細な「臨床開始前実習の手引」及び「臨床実習の手引」が「シラバス」に相当するので、本冊子には含まれていない。

授業を受けるにあたって、該当科目の「シラバス」を十分に活用し、下記の歯学部の理念を念頭に、教育目標を達成してほしい。

歯学部の理念

基本的教養と幅広い歯科口腔医学専門知識を修得し、今後の歯科口腔医学、歯科口腔医療を切り拓くとともに社会に信頼される歯科医師および研究者を養成する。

歯学部の教育目標

(1)　責任感、社会性を持ち、歯科医師としての倫理観と豊かな人間性を身につけている。
(2)　コミュニケーション能力と協調性を身につけている。
(3)　生命科学へのリサーチマインドを身につけている。
(4)　離島等の地域歯科医療について、保健・医療・福祉の側面から総合的に考えることができる。
(5)　先進的な歯科口腔医療に対応できる幅広い知識と基本的技能を身につけている。

アクセシビリティ

長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、各授業の担当教員または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談ください。

アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先

（TEL）095-819-2006　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp

歯学教育モデル・コア・カリキュラム（平成28年度改訂版） 概要

〇学生が卒業時までに身に付けておくべき、必須の実践的診療能力（知識・技能・態度）を、「ねらい」と「学修目標」として明確化
〇学生の学修時間数の6割程度を目安としたもの
〇「歯科医師として求められる基本的な資質・能力」として、ミニマム・エッセンスである項目を記載

【各大学のアドミッション・ポリシー】　【各大学のカリキュラム・ポリシー】　【各大学のディプロマ・ポリシー】

多様なニーズに対応できる歯科医師の養成

A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力

- 医学知識と問題対応能力
- 診療技能と患者ケア
- コミュニケーション能力
- チーム医療の実践
- プロフェッショナリズム
- 生涯にわたって共に学ぶ姿勢
- 科学的探究
- 社会における医療の実践
- 医療の質と安全の管理

B 社会と歯学

- 健康の概念
- 予防と健康管理
- 健康と社会、環境
- 疫学・保健医療統計

C 生命科学

- 基礎自然科学
- 生命の分子的基盤
- 人体の構造と機能
- 感染と免疫
- 病因と病態
- 生体と薬物

D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）

- 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途
- 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法

E 臨床歯学

- 診療の基本
- 口腔・顎顔面領域の常態と疾患
- 歯と歯周組織の常態と疾患
- 矯正歯科・小児歯科治療
- 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患
- 医師と連携するために必要な医学的知識

F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習））

- 診療の基本
- 基本的診察法
- 基本的臨床技能

G 診療参加型臨床実習

- 診療の基本
- 基本的診察法
- 基本的臨床技能
- チーム医療・地域医療
- 患者中心の医療
- （別表）臨床実習の内容と分類

診療参加型臨床実習開始前の「共用試験」CBT（知識）及びOSCE（技能・態度）

診療参加型臨床実習終了時の技能・態度評価

歯科医師法に基づく歯科医師国家試験（知識）

各大学の特色ある独自のカリキュラム（学生の学修時間数の4割程度）
※ 各大学が教育理念に基づいて設置する独自の教育内容（学生が自主的に選択できるプログラムを含む）

医学/歯学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）概要

- 各大学が策定する「カリキュラム」のうち、全大学で共通して取り組むべき「コア」の部分を抽出し、「モデル」として体系的に整理したもの。
- 初版は平成13年3月に策定。医療を取り囲む環境変化に伴い改訂（平成19年度、22年度、28年度）。
- 学生が**卒業時までに身に付けておくべき必須の実践的診療能力（知識・技能・態度）**に関する学修目標を**明確化**。
- 学生の学修時間数の**医学:3分の2程度、歯学:6割程度**を目安としたもの （残りは各大学の特色ある独自のカリキュラムを実施）。

キャッチフレーズ

「未来の社会や地域を見据え、多様な場や人をつなぎ活躍できる医療人の養成」



人口減地域の増加



新興感染症・災害リスクの増大





高齢化率の上昇

新規科学技術の台頭



「医師/歯科医師に求められる基本的な資質・能力」を共通化（赤字は新設）

PR. プロフェッショナリズム	**IT. 情報・科学技術を活かす能力**
GE. 総合的に患者・生活者をみる姿勢	CS. 患者ケアのための診療技能
LL. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢	CM. コミュニケーション能力
RE. 科学的探究	IP. 多職種連携能力
PS. 専門知識に基づいた問題解決能力	SO. 社会における医療の役割の理解



令和８年度歯学部行事予定表

― 前　期 ―

学年開始	４月　１日（水）
授業開始（２～６年）	４月　１日（水）
入学式	４月　２日（木）
新入生学部オリエンテーション（１年）	４月　３日（金）
入学時ワークショップ（１年）	４月　４日（土）
授業開始（１年）	４月　６日（月）
臨床開始前実習（５年）	５月　７日（木）～１０月２日（金）
ＣＢＴ（５年）	６月１６日（火）
ＯＳＣＥ（５年）	７月２５日（土）
前期定期試験時間割発表	７月　９日（木）
授業終了（１～４年）	７月２８日（火）
授業終了（５年）	７月２４日（金）
定期試験期間（１年）	８月　３日（月）～　４日（火）
定期試験期間（２～４年）	７月２３日（木）～３１日（金）
定期試験期間（５年）	８月１７日（月）～２１日（金）
夏季休業（１年）	８月　５日（水）～　９月２５日（金）
夏季休業（２～４年）	８月　３日（月）～　９月２５日（金）
夏季休業（５年）	７月２７日（月）～　８月１４日（金）、 ８月２４日（月）～　９月１８日（金）
ＣＢＴ追再試験（５年）	８月　４日（火）
ＯＳＣＥ追再試験（５年）	８月２２日（土）
臨床知識理解度試験（６年）	８月１７日（月）～１８日（火）
臨床知識理解度試験追試験（６年）	８月１９日（水）～２０日（木）
追・再試験時間割発表（１～４年）	８月　７日（金）
追・再試験時間割発表（５年）	８月２４日（月）
追試験期間（１～４年）	８月１７日（月）～１８日（火）
追試験期間（５年）	８月２５日（火）～２６日（水）
再試験期間（１年）	８月２４日（月）～２５日（火）
再試験期間（２～４年）	８月２４日（月）～２６日（水）
再試験期間（５年）	８月３１日（月）～　２日（水）
ＣＳＸ（６年）	９月１０日（木）
ＣＳＸ追試験（６年）	９月２４日（木）
臨床知識理解度試験再試験（６年）	９月１４日（月）～１５日（火）
前期成績発表	９月の指定する日

― 後　期 ―

授業開始	９月２８日（月）
臨床実習（５年）	１０月　５日（月）～翌年度９月末
卒業認定試験（６年）	１０月２２日（木）～２３日（金）
解剖体慰霊祭	１０月２２日（木）
歯学部祭	１０月中旬～１１月下旬頃
卒業認定試験追再試験（６年）	１１月１２日（木）～１３日（金）
冬季休業（１～４年）	１２月２４日（木）～１２月３１日（木）
後期定期試験時間割発表	１月１９日（火）
授業終了（１～４年）	２月　１日（月）
定期試験期間（１年）	２月　２日（火）、８日（月）
定期試験期間（２～４年）	２月　２日（火）～８日（月）
追・再試験時間割発表（１～４年）	２月１０日（水）
追試験期間（１年）	２月１５日（月）
追試験期間（２～４年）	２月１２日（金）
再試験期間（１年）	２月２２日（月）
再試験期間（２～４年）	２月１７日（水）～１９日（金）
卒業式	３月２５日（木）
学年終了	３月３１日（水）
後期成績発表	３月の指定する日

令和8年度歯学部カレンダー（2～4年次）

前期：4月1日（水）～7月31日（金）
1Q：4月1日～6月3日（5月28日～29日を除く）
2Q：5月28日～7月31日（6月1日～3日を除く）

	日	月	火	水	木	金	土
R8年4月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	1	2
5月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
6月	31	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	1	2	3	4
7月	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	1
8月	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
9月	30	31	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	後期28	後期29	後期30			
回数	－	15	15	15	15	15	－

後期：9月28日（月）～2月8日（月）
3Q：9月28日～11月30日（11月25日～27日を除く）
4Q：11月25日～2月8日（11月30日を除く）

	日	月	火	水	木	金	土
9月	27	28	29	30	1	2	3
10月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
11月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
12月	29	30	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	1	2
R9年1月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
2月	31	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
3月	28	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
回数	－	15	15	15	15	15	－

注：9月28日（月）は後期の授業開始日

休業日等（1/19(火)は共通テスト試験監督等振替、1/22(金)は学校推薦型選抜Ⅱ当日）

授業日

補講日（補講を実施しない場合は定期試験日として利用可能）

定期試験日

追試験日

再試験日

（令和8年度）歯学部授業時間割

（ 前 期 ）（ 1Q・2Q ）

曜日		校時	I 8:50–10:20	II 10:30–12:00	III 13:00–14:30	IV 14:40–16:10	V 16:20–17:50
		年次	1 8:50–9:50	2 10:00–11:00	3 11:10–12:10	4 13:00–14:00	5 14:10–15:10	6 15:20–16:20	7 16:30–17:30	8 17:40–18:40
月	1		歯科学のための物理科学（講3B）	細胞生物学入門Ⅰ（講3B）	歯学展望（講3B）	骨学及び同実習（歯解実・講3B・医2講・医1実）			教養教育：初年次セミナー（坂本）	
	2		教養教育							
	3			微生物学・口腔微生物学（講3A）		薬理学及び同実習（講3A・実5C）				
	4		歯科矯正学及び同実習（講6A・臨4B）			予防歯科学及び同実習（講6A・臨4B）			基礎歯学研究	
	5		統合科目（講6B）							
	6		臨床実習						基礎歯学輪講（講3A）	
火	1		（1Q）学内・学外早期体験実習 ／（2Q）歯科医師のコンピテンシーⅠ（講3B）			細胞生物学プラクシス（講3B）			教養教育：初年次セミナー（坂本）	
	2		教養教育							
	3		薬理学及び同実習（講3A・実5C）	（1Q）微生物学・口腔微生物学（講3A）／ （2Q）病理学総論及び同実習（講3A・実5B）		病理学総論及び同実習（講3A・実5B）				
	4		歯科矯正学及び同実習（講6A）		保存修復学（講6A）	保存修復学実習（臨4B）				
	5		統合科目（講6B）						歯学研究	
	6		臨床実習							
水	1		教養教育							
	2		生理学（講3B）／生理学実習（実5C）			（1Q）教養教育：歯科学のための生物科学（講3B）		（1Q）教養教育：歯科学のための化学（講3B）		
	3		歯科理工学Ⅰ／歯科理工学Ⅱ／歯科理工学Ⅲ（講3A）			口腔組織学及び同実習（講3A・実5B）				
	4		（1Q）災害口腔医学 ／（2Q）小児歯科学・小児歯科学実習（講6A）		歯内治療学（講6A）	歯内治療学実習（臨4B）				
	5		統合科目（講6B）							
	6		臨床実習						歯学研究	
木	1		教養教育							
	2		解剖学及び同実習（講3B・歯解実）				歯科医師のコンピテンシーⅡ（講3B）			
	3		内科学総論（講3A）		歯科東洋医学（講3A）／Scientific and Practical English（講3A）					
	4		障害者歯科学（講6A）		歯科医師のコンピテンシーⅣ（講5A）	冠橋義歯学及び同実習（講6A・臨4B）				
	5		統合科目（講6B）							
	6		臨床実習							
金	1		教養教育							
	2		生化学（講3B）		発生学（講3B）	生理学（講3B）／生理学実験（実5C）				
	3		外科学総論（講3A）	口腔解剖学及び同実習（歯解実・講3A）		コミュニティー教育・実習（講3A）		（1Q）基礎歯学研究概論（講3A）／（2Q）基礎歯学研究		
	4		歯科麻酔学及び同実習（講6A）			有床義歯補綴学及び同実習（講6A・臨4B）				
	5		統合科目（講6B）							
	6		臨床実習						基礎歯学輪講（講3A）	

※ 教室名と略語の対応は以下のとおり。

講3A・・・講義室3A（C棟3階）
講3B・・・講義室3B（C棟3階）
講6A・・・講義室6A（C棟6階）
講6B・・・講義室6B（C棟6階）
実5A・・・実習室5A（C棟5階）
実5B・・・実習室5B（C棟5階）
実5C・・・実習室5C（C棟5階）
歯解実・・・歯学部解剖実習室（A棟7階）
臨4B・・・臨床実習室4B（C棟4階）
医2講・・・医学部第2講義室
医1実・・・医学部第1実習室

時間割

90分授業	60分授業
1校時 8:50–10:20	1校時 8:50–9:50
2校時 10:30–12:00	2校時 10:00–11:00
3校時 13:00–14:30	3校時 11:10–12:10
4校時 14:40–16:10	4校時 13:00–14:00
5校時 16:20–17:50	5校時 14:10–15:10
	6校時 15:20–16:20
	7校時 16:30–17:30
	8校時 17:40–18:40

（令和8年度）歯学部授業時間割

（　後　期　）（ 3Q･4Q ）

曜日	校時	Ⅰ 8:50–10:20	Ⅱ 10:30–12:00	Ⅲ 13:00–14:30	Ⅳ 14:40–16:10	Ⅴ 16:20–17:50
	年次	1 8:50–9:50	2 10:00–11:00	3 11:10–12:10	4 13:00–14:00	5 14:10–15:10	6 15:20–16:20	7 16:30–17:30	8 17:40–18:40
月	1		細胞生物学入門Ⅱ（講3B）	歯学展望（講3B）					
	2	長崎大学グローカルインターンシップ・プログラム（講6B）			長崎大学グローカルインターンシップ・プログラム（オンライン自主学習）				
	3	内科学各論（講3A）		微生物学・口腔微生物学（講3A）	外科学各論（講3A）		隣接医学Ⅱ（講3A）		
	4	歯周病学（講6A）		統合科目（スポーツ歯学）／統合科目（総合歯科学Ⅰ）（講6A）	歯周病学実習（臨4B）			基礎歯学研究	
	5	臨床実習							
	6	臨床実習／高次口腔医療学						(3Q) 歯科医療管理学（講3A）	
火	1		学内・学外早期体験実習（講3B）						
	2	長崎大学グローカルインターンシップ・プログラム（講6B）			生化学実験（実5A）				
	3	(3Q)医学統計学／(4Q)コンピテンシーⅢ（講3A）	口腔病理学及び同実習(講3A ・実5B)						
	4	統合科目（臨床解剖学）（講6A・歯解実・医解実）			口腔外科学Ⅰ及び同実習（講6A・臨4B）			実践臨床歯科英会話（講6A）	
	5	臨床実習						(3Q)コンピテンシーⅤ／臨床歯学セミナー（講6B）	
	6	臨床実習／高次口腔医療学						(3Q) 歯科医療管理学（講3A）	
水	1	教養教育							
	2	(3Q)長崎大学グローカルインターンシップ・プログラム(講6B)			(3Q)長崎大学グローカルインターンシップ・プログラム（オンライン自主学習）				
		(4Q)解剖学及び同実習（講6B・歯解実・医解実）							
	3	隣接医学Ⅰ・Ⅱ（講3A）			(3Q)歯科理工学実験（講3A・実5C）			(4Q)隣接医学Ⅱ（講3A）	
	4	高齢者歯科学（講6A）		小児歯科学／小児歯科学実習（講6A・臨4B）					
	5	臨床実習						歯学研究	
	6	臨床実習／高次口腔医療学						(3Q) 歯科医療管理学（講3B）	
木	1	教養教育							
	2	解剖学及び同実習（講6B・歯解実・医解実）							
	3	(3Q)隣接医学Ⅲ（講3A）	(3Q)口腔微生物学実習（講3A・実5A）						
		(4Q)隣接医学Ⅰ・Ⅱ（講3A）	(4Q)衛生学及び同実習（講3A・実5A）						
	4	歯科放射線学及び同実習（講6A）		冠橋義歯学及び同実習（講6A・臨4B）					臨床歯学研究概論（講6A）
	5	臨床実習							
	6	臨床実習／高次口腔医療学						(3Q) 歯科医療管理学（講3B）	
金	1	教養教育							
	2	組織学及び同実習（講6B・実5B）							
	3	歯科薬理学（講3A）／口腔生理学（講3A）		口腔生化学（講3A）			基礎歯学研究		
	4	口腔外科学Ⅱ及び同実習（講6A・臨4B）		有床義歯補綴学及び同実習（講6A・臨4B）					
	5	臨床実習／医哲学・医療倫理（医学部記念講堂）（10月の2日間）							
	6	臨床実習／高次口腔医療学						(3Q) 歯科医療管理学（講3B）	

※　教室名と略語の対応は以下のとおり。

講3A･･･講義室3A（C棟3階）
講3B･･･講義室3B（C棟3階）
講6A･･･講義室6A（C棟6階）
講6B･･･講義室6B（C棟6階）
実5A･･･実習室5A（C棟5階）
実5B･･･実習室5B（C棟5階）
実5C･･･実習室5C（C棟5階）
歯解実･･･歯学部解剖実習室（A棟7階）
臨4B･･･臨床実習室4B（C棟4階）
医解実･･･医学部解剖実習室
医講4･･･医学部第4講義室（病院2階）

時間割

90分授業		60分授業	
1校時	8:50–10:20	1校時	8:50–9:50
2校時	10:30–12:00	2校時	10:00–11:00
3校時	13:00–14:30	3校時	11:10–12:10
4校時	14:40–16:10	4校時	13:00–14:00
5校時	16:20–17:50	5校時	14:10–15:10
		6校時	15:20–16:20
		7校時	16:30–17:30
		8校時	17:40–18:40

総合科目（1年次生～5年次生）

（1）学内・学外早期体験実習　（1年）・・・・・・・・・・・・2
（2）学内・学外早期体験実習　（1年）・・・・・・・・・・・・5
（3）歯学展望　（1年）・・・・・・・・・・・・8
（4）コミュニティー教育・実習　（3年）・・・・・・・・・・・・12
（5）歯科東洋医学　（3年）・・・・・・・・・・・・15
（6）Scientific and Practical English　（3年）・・・・・・・・・・・・18
（7）歯科医師のコンピテンシーⅠ　（1年）・・・・・・・・・・・・21
（8）歯科医師のコンピテンシーⅡ　（2年）・・・・・・・・・・・・23
（9）歯科医師のコンピテンシーⅢ　（3年）・・・・・・・・・・・・25
（10）歯科医師のコンピテンシーⅣ　（4年）・・・・・・・・・・・・28
（11）歯科医師のコンピテンシーⅤ　（5年）・・・・・・・・・・・・31

年度 2026 学期 1〜2Q	曜日・校時 2 年次/木・6	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25064419 DNGD11081098 歯科医師のコンピテンシーⅡ/(Competence for Dentist II)		
対象年次 2 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3B	
対象学生(クラス等)		科目分類 総合科目	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 住田吉慶/ y-sumita@nagasaki-u.ac.jp/ 先進口腔医療開発学分野教授室/ 095-819-7706/ 火曜日 13〜17 時			
担当教員(オムニバス科目等)	住田吉慶(先進口腔医療開発学分野)、山下利佳(口腔管理センター)、井隆司(先進口腔医療開発学分野)		
授業の概要 歯科医師として求められる基本的な資質と能力を身につけるために，各学年においてスパイラル形式で授業を積み重ねる			

一般目標 GIO: 1 患者の安全を最優先し、常に患者中心の立場に立つとともに、患者の主体的治療参加を促すために、患者の権利を熟知し、その現状と問題点を理解する。 2 豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守る歯科医師としての義務と責任を自覚する。 3 信頼される安全・安心な歯科医療を提供するために、医療上の事故等(インシデントや医療関連感染を含む)は日常的に起こる可能性があることを認識し、過去の事例に学び、事故を防止し、患者の安全確保を最優先するために必要な知識を身に付ける。 個別行動目標 SBOs: 右記コアカリキュラム参照	【令和4年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 C-3 医療の質と患者安全の確保 C-3-1 安全な医療の確保 C-3-1-1 医療上の事故等の発生要因(ヒューマンエラー、システムエラー等)と防止策を説明できる。 C-3-1-2 医療現場における報告、連絡、相談及び診療録記載の重要性を説明できる。 C-3-1-3 医療の安全性に関する情報の共有、分析の重要性を説明できる。 C-3-1-4 医療機関に求められる患者安全管理体制を説明できる。 C-3-2 医療上の事故等への対処と予防 C-3-2-1 医療事故と医療過誤の違いを説明できる。 C-3-2-2 医療法に基づく医療事故調査制度を説明できる。 C-3-2-4 医療上の事故等が発生した際の緊急処置や記録事項、報告体制を説明できる。 C-3-2-5 医療上の事故等の事例の原因を分析、防止対策を説明できる。

対応するディプロマポリシー
DP2:歯科口腔医学に関する臨床的知識を身につけている。
DP3:歯科口腔医療を行える基本的臨床能力を身につけている。
DP7:患者中心の歯科口腔医療を展開するための豊かな人間性と倫理観を身につけている。
DP8:患者に信頼感と安心感を与えることができる高いコミュニケーション能力を身につけている。

授業方法(学習指導法)
講義、グループ発表、ビデオ学習、確認テスト、レポート作成

医療安全概論，課題提示
WHO Multi-professional Patient Safety Curriculum Guide
Topic1 What is Patient Safety?
Topic2 Why applying human factors ins important for patient safety
Topic3 Systems and the effect of complexity on patient care
Topic4 Being an effective team player
Topic5 Learning from errors to prevent harm

キーワード	インフォームド・コンセント，医療安全，医療事故
教科書・教材・参考書	WHO Multi-professional Patient Safety Curriculum Guide http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/44641/3/9789241501958_jpn.pdf?ua=1://&ua=1
成績評価の方法・基準等	課題発表，レポート，確認テスト，および授業出席状況と受講態度を中心に評価する。また、必要に応じて筆記試験を行う
受講要件(履修条件)	**全 8 回の授業回であるので、出席回数 2/3 以上の要件を満たすには 6 回以上の授業回への出席が単位取得には必要である。**
備考(学生へのメッセージ)	上記したように、8 回しかない授業であるので、出席回数には注意してください。
実務経験のある教員による授業科目	住田 吉慶／名古屋大学・長崎大学の病院口腔外科における診療経験、歯科医学研究の実務／口腔外科学や臨床研究、医療安全についての講義 山下 利佳／長崎大学病院における診療経験、医療安全の実務／歯科補綴学、口腔管理、医療安全についての講義 井 隆司／長崎大学の病院口腔外科における診療経験、歯科医学研究の実務／口腔外科学や臨床研究、医療安全についての講義

日程表(歯科医師のコンピテンシーⅡ)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	5	14	木	6	医療安全概説	住田	講義室3B
2回	5	21	木	6	医療安全の実際Ⅰ （Topic1 What is Patient Safety?）・課題提示	井	講義室3B
3回	5	28	木	6	医療安全の実際Ⅱ （ビデオ学習）	井	講義室3B
4回	6	4	木	6	医療安全の実際Ⅲ （医療安全の基本知識と実際・大学病院での取り組みなど）	山下	講義室3B
5回	6	18	木	6	課題発表準備 （確認テスト・グループ学習）	住田	講義室3B
6回	6	25	木	6	課題発表Ⅰ・Ⅱ （Topic2 Why applying human factors ins important for patient safety） （Topic3 Systems and the effect of complexity on patient care）	住田・井	講義室3B
7回	7	2	木	6	課題発表Ⅲ・Ⅳ （Topic4 Being an effective team player） （Topic5 Learning from errors to prevent harm）	住田・井	講義室3B
8回	7	9	木	6	授業のまとめ （レポート作成）	住田	講義室3B

口腔生命科学総論（1年次生、2年次生、3年次生）

（1）骨学及び同実習 (1年)・・・・・・・・・・・・34
（2）解剖学及び同実習 (2年)・・・・・・・・・・・・36
（3）発生学 (2年)・・・・・・・・・・・・42
（4）組織学及び同実習 (2年)・・・・・・・・・・・・45
（5）生理学 (2年)・・・・・・・・・・・・48
（6）生理学実習 (2年)・・・・・・・・・・・・51
（7）生化学 (2年)・・・・・・・・・・・・54
（8）生化学実験 (2年)・・・・・・・・・・・・56
（9）歯科理工学Ⅰ (3年)・・・・・・・・・・・・58
(10) 歯科理工学Ⅱ (3年)・・・・・・・・・・・・60
(11) 歯科理工学Ⅲ (3年)・・・・・・・・・・・・62
(12) 病理学総論及び同実習 (3年)・・・・・・・・・・・・64
(13) 微生物学・口腔微生物学 (3年)・・・・・・・・・・・・69
(14) 薬理学及び同実習 (3年)・・・・・・・・・・・・73
(15) 歯科学のための生物科学 (1年)・・・・・・・・・・・・77
(16) 歯科学のための物理科学 (1年)・・・・・・・・・・・・80
(17) 細胞生物学プラクシス (1年)・・・・・・・・・・・・83
(18) 細胞生物学入門Ⅰ (1年)・・・・・・・・・・・・85
(19) 細胞生物学入門Ⅱ (1年)・・・・・・・・・・・・87

年度 2026 学期 通年	曜日・校時 1・2Q 木・1～5, 3Q 木 1～7, 4Q 水～木・1～7	必修選択 必修	単位数 6
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25014101 DNGD22021901 解剖学及び同実習/(Human Anatomy and Dissection Practice)		
対象年次 2 年次	講義形態 講義・実習形式	教室 歯学部解剖実習室、医学部解剖実習室、講義室 3B、講義室 6B	
対象学生(クラス等)		科目分類 口腔生命科学総論	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小山田常一 /oyamada@nagasaki-u.ac.jp /顎顔面解剖学分野セミナー室/095-819-7627/火、金 16:30～18:00			
担当教員(オムニバス科目等)	小山田常一 oyamada@、真鍋義孝 manabe@		

授業の概要

骨格、筋、血管、神経より構成される運動器の構造と機能を理解する。また、胸部内臓、腹部内臓、骨盤内臓の外景、相互の立体的位置関係さらに血管及び神経の分布を明らかにし、人体構造の理解への基礎を作る。

授業到達目標

一般目標 GIO:
人体の各系統解剖について深く理解した上で、解剖学実習によって各系統の知識を統合し、臨床に応用可能な 3 次元立体構造を理解する。

【令和 4 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】

個別行動目標 SBOs:

(1)	人体構造を表現する解剖学一般用語、人体の各部と体位を示す用語を理解する。	A-3-1-2-1, A-3-2-1, A-3-3-1
(2)	骨の形態学的分類及び関節の種類を列記できる。頭頸部、体肢、体幹の骨格の形態学的特徴と連結を理解し、説明できる。	A-3-1-2-1, A-3-2-2, A-3-2-8, A-3-3-8
(3)	頭頸部、体幹、体肢の筋の形態学的特徴を観察し、筋の起始、停止、支配神経、作用を説明できる。	A-3-1-3-3, A-3-2-3, A-3-2-4, A-3-3-3, A-3-3-4
(4)	頭頸部、体幹、体肢の動静脈系を観察し、それらの名称、走行、分布が正確に説明できる。	A-3-1-4-1, A-3-1-4-2, A-3-1-4-3, A-3-1-4-6, A-3-2-5
(5)	脳神経、脊髄神経の走行と分布を観察し、それらの走行、分布、機能を説明できる。自律神経の分布を観察し、機能が理解できる。	A-3-1-5-1, A-3-1-5-2, A-3-1-5-3, A-3-1-5-4, A-3-1-6-1, A-3-1-6-2, A-3-2-6, A-3-2-7
(6)	頸部、胸部、腹部、骨盤内臓の位置、相互関係、外景、内景を観察し、その構造及び機能の概略を説明できる。	A-3-1-7-1, A-3-1-7-2, A-3-1-8-1, A-3-1-8-2, A-3-1-9-1, A-3-1-10-1, A-3-1-11-1, A-3-2-12, A-3-2-13, A-3-2-15

対応するディプロマポリシー

DP1:歯科口腔医学に関する基礎知識を身につけている。
DP7:患者中心の歯科口腔医学を展開するための豊かな人間性と倫理観を身につけている。

授業方法(学習指導法)

講義によって知識を修得し、実習によって知識の確認を行う。講義及び実習は系統解剖学と局所解剖学を織りまぜながら行う。教室作成の冊子を配付する。適宜、プリント、スライド等を使用する。講義は、原則として標本または模型を提示しながら行う。

授業内容

全 208 校時を次の配分で行う。(各授業日時等は日程表を参照)

第 1・第 2 クォーターでは解剖学総論に始まり、骨学、筋系・関節学、循環器系、消化器系、呼吸器系、泌尿生殖器系、内分泌系、神経系、感覚器系をそれぞれの総論・各論に関して解説する。

循環器系 12 回に関しては非常勤講師の真鍋担当として、最新の研究成果を含めて解説する。

またこれらと並行して、骨学実習(10 回)では、人体骨格標本等を通して、骨の形態、体幹構造、位置関係並びに、脈管系・筋系との関連を観察及び描写することで理解を深める。

第 3・第 4 クォーターの系統解剖学実習(130 回)では、体表観察に始まり、自らの手で徐々に深部へと解き開いていく事で、三次元的に人体の形態、構造、各器官の位置関係、関連性についての知識修得を目指すと共に、医療に携わることの難しさ、重要性と倫理観について体得する。

キーワード	人体解剖、系統解剖学、生命の尊厳

教科書・教材・参考書	教科書：口腔解剖学（脇田稔ら監修、医歯薬出版株式会社）、 解剖実習の手引き（寺田春水ら著、南山堂） 参考書：分担解剖学（森　於兎ら著、金原出版）、グレイ解剖学（学生版）塩田浩平他訳 エルゼビアジャパン、歯科学生のための解剖学実習（小林茂夫ら著、南江堂）、骨学実習の手引き（寺田春水ら著、南山堂）等 ※講義内容は、参考書の内容に限定されることはないものとする。
成績評価の方法・基準等	各系統の講義について筆記試験を行う。実習への取り組みと理解度について実習試験（骨学実習・中間試問、最終試問等）を行う。筆記試験に実習試験（骨学実習・中間試問・最終試問）及び提出物を加味して総合的に評価を行い、成績が100点満点中60点以上の者を合格とする。また必要に応じて追加の試験を行う。※ 試験内容は、参考書の内容に限定されることはないものとする。
受講要件(履修条件)	講義には毎回出席し、ノートを取ること。質問は随時受け付けるが、オフィスアワーでも受け付ける。面談の際はあらかじめメールで時間調整を行うこと。
備考(学生へのメッセージ)	参考書などで十分に予習を行っておくこと。
実務経験のある教員による授業科目	・小山田　常一／歯科医師として歯科医院での実務経験／歯科医院での実務経験を基に講義・実習指導を行う。

日程表(解剖学および同実習)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1～5回	4	2	木	1～4	解剖学総論(1～4) 人体の構成、人体の区分、方向用語、骨学の総論	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
				5	筋系・関節学(1) 筋系の総論、筋系の各論(体幹の筋) 骨の連結の種類と構造、顎関節の構造	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
6～10回	4	9	木	1～5	骨学実習(1～5) 人体骨格標本等を通して、骨の形態、体幹構造、 位置関係並びに、脈管系・筋系との関連を観察及び描写	小山田常一	解剖実習室(歯)
11～15回	4	16	木	1～5	骨学実習(6～10) 人体骨格標本等を通して、骨の形態、体幹構造、 位置関係並びに、脈管系・筋系との関連を観察及び描写	小山田常一	解剖実習室(歯)
16～20回	4	23	木	1	骨学実習 筆記試験	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
				2～5	筋系・関節学(2～5) 筋系の総論、筋系の各論(体幹の筋) 骨の連結の種類と構造、顎関節の構造	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
21～25回	4	30	木	1	筋系・関節学(6) 筋系の総論、筋系の各論(体幹の筋) 骨の連結の種類と構造、顎関節の構造	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
				2～3	消化器系(1～2) 消化器系の各論(咽頭、食道、胃、肝臓、膵臓、小腸、大腸)	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
				4～5	循環器系(1～2) 循環器系の総論、心臓、心膜、 体循環と肺循環及び動脈系の総論、各論	真鍋義孝	講義室3B または 解剖実習室
26～30回	5	7	木	1～3	消化器系(3～5) 消化器系の各論(咽頭、食道、胃、肝臓、膵臓、小腸、大腸)	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
				4～5	循環器系(3～4) 循環器系の総論、心臓、心膜、 体循環と肺循環及び動脈系の総論、各論	真鍋義孝	講義室3B または 解剖実習室
31～35回	5	14	木	1～3	消化器系(6～8) 消化器系の各論(咽頭、食道、胃、肝臓、膵臓、小腸、大腸)	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
				4～5	循環器系(5～6) 循環器系の総論、心臓、心膜、 体循環と肺循環及び動脈系の総論、各論	真鍋義孝	講義室3B または 解剖実習室
36～40回	5	21	木	1	消化器系(9) 消化器系の各論(咽頭、食道、胃、肝臓、膵臓、小腸、大腸)	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
				2～3	呼吸器系(1～2) 呼吸器系の総論、 各論(鼻腔、喉頭、気管、気管支、肺、胸膜、縦隔)	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
				4～5	循環器系(7～8) 循環器系の総論、心臓、心膜、 体循環と肺循環及び動脈系の総論、各論	真鍋義孝	講義室3B または 解剖実習室

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
41～45回	5	28	木	1	筆記試験1	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
				2～3	呼吸器系(3～4) 呼吸器系の総論、 各論(鼻腔、喉頭、気管、気管支、肺、胸膜、縦隔)	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
				4～5	循環器系(9～10) 循環器系の総論、心臓、心膜、 体循環と肺循環及び動脈系の総論、各論	真鍋義孝	講義室3B または 解剖実習室
46～50回	6	4	木	1～3	泌尿生殖器系(1～3) 泌尿器、生殖器	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
				4～5	循環器系(11～12) 循環器系の総論、心臓、心膜、 体循環と肺循環及び動脈系の総論、各論	真鍋義孝	講義室3B または 解剖実習室
51～55回	6	11	木	1	泌尿生殖器系(4) 泌尿器、生殖器	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
				2～5	神経系(1～4) 中枢神経系の総論と内景、 末梢神経(総論、脊髄神経の各論と脳神経)、自律神経の各論	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
56～60回	6	18	木	1	筆記試験2	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
				2～5	神経系(5～8) 中枢神経系の総論と内景、 末梢神経(総論、脊髄神経の各論と脳神経)、自律神経の各論	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
61～65回	6	25	木	1～3	神経系(9～11) 中枢神経系の総論と内景、 末梢神経(総論、脊髄神経の各論と脳神経)、自律神経の各論	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
				4～5	感覚器系(1～2) 視覚器、平衡聴覚器	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
66～70回	7	2	木	1～3	感覚器系(3～5) 視覚器、平衡聴覚器	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
				4～5	内分泌系(1～2) 内分泌系の総論、 各論(下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体、副腎　等)	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
71～75回	7	9	木	1	筆記試験3	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室
				2～5	総括	小山田常一	講義室3B または 解剖実習室

日程表(解剖学及び同実習)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
76～82回	10	15	木	1～3	実習前講義	小山田常一	解剖実習室(歯)
				4～7	系統解剖学実習(1) オリエンテーション	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
83～89回	10	29	木	1～3	系統解剖学実習(2) 前面の皮切・皮剥、皮下結合組織の除去、皮神経・皮静脈・浅筋膜の剖出	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(3) 前面の皮切・皮剥、皮下結合組織の除去、皮神経・皮静脈・浅筋膜の剖出	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
90～96回	11	5	木	1～3	系統解剖学実習(4) 前面の皮切・皮剥、皮下結合組織の除去、皮神経・皮静脈・浅筋膜の剖出	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(5) 前面浅層(表情筋、耳下腺神経叢、頚神経叢、腋窩、上肢屈側、下肢伸側　等)剖出	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
97～103回	11	12	木	1～3	系統解剖学実習(6) 前面浅層(表情筋、耳下腺神経叢、頚神経叢、腋窩、上肢屈側、下肢伸側　等)剖出	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(7) 前面浅層(表情筋、耳下腺神経叢、頚神経叢、腋窩、上肢屈側、下肢伸側　等)剖出	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
104～110回	11	19	木	1～3	系統解剖学実習(8) 剖査の確認	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(9) 背面の皮切・皮剥、皮下結合組織除去、皮神経・皮静脈・浅筋膜の剖出、浅層の剖査	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
111～117回	11	25	水	1～3	系統解剖学実習(10) 背面の皮切・皮剥、皮下結合組織除去、皮神経・皮静脈・浅筋膜の剖出、浅層の剖査	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(11) 背面の皮切・皮剥、皮下結合組織除去、皮神経・皮静脈・浅筋膜の剖出、浅層の剖査	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
118～124回	11	26	木	1～3	系統解剖学実習(12) 胸壁、腹壁の披開、各部の剖査	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(13) 胸部内臓の摘出・剖査、腹部内臓の摘出・剖査、上肢屈側、下肢伸側の剖査	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
125～131回	12	2	水	1～3	系統解剖学実習(14) 胸部内臓の摘出・剖査、腹部内臓の摘出・剖査、上肢屈側、下肢伸側の剖査	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(15) 胸部内臓の摘出・剖査、腹部内臓の摘出・剖査、上肢屈側、下肢伸側の剖査	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
132～138回	12	3	木	1～3	系統解剖学実習(16) 胸部内臓の摘出・剖査、腹部内臓の摘出・剖査、上肢屈側、下肢伸側の剖査	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(17) 剖査の確認	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
139～145回	12	9	水	1～3	系統解剖学実習(18) 中間口頭試問	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(19) 中間口頭試問	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
146～152回	12	10	木	1～3	系統解剖学実習(20) 背面の剖査、頭蓋腔内面の観察、固有背筋群の剖査、会陰部の皮剥、肛門部の剖査　等	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(21) 背面の剖査、頭蓋腔内面の観察、固有背筋群の剖査、会陰部の皮剥、肛門部の剖査　等	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
153～159回	12	16	水	1～3	系統解剖学実習(22) 前面の剖査、頭部離断、頭部切半、縦隔の剖査、 骨盤内部の剖査、上肢離断、上肢・下肢の剖査　等	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(23) 前面の剖査、頭部離断、頭部切半、縦隔の剖査、 骨盤内部の剖査、上肢離断、上肢・下肢の剖査　等	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
160～166回	12	17	木	1～3	系統解剖学実習(24) 脊髄の摘出、頭頸部の剖査、骨盤の切半、骨盤内臓の剖査、 下肢離断、上肢・下肢の剖査　等	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(25) 脊髄の摘出、頭頸部の剖査、骨盤の切半、骨盤内臓の剖査、 下肢離断、上肢・下肢の剖査　等	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
167～173回	1	6	水	1～3	系統解剖学実習(26) 頭頸部(咽頭・鼻腔・口腔・喉頭)の剖査、骨盤内臓の剖査、 上肢・下肢の剖査　等	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(27) 眼瞼・結膜・涙嚢・涙腺の剖査、眼窩の剖査、外耳・中耳・ 内耳の剖査、各部の細部の剖査　等	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
174～180回	1	7	木	1～3	系統解剖学実習(28) 頭頸部(咀嚼筋・側頭下窩・顎関節・副鼻腔・翼口蓋窩)の剖査、 骨盤内臓の剖査、上肢・下肢の剖査　等	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(29) 眼瞼・結膜・涙嚢・涙腺の剖査、眼窩の剖査、外耳・中耳・ 内耳の剖査、各部の細部の剖査　等	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
181～187回	1	13	水	1～3	系統解剖学実習(30) 眼瞼・結膜・涙嚢・涙腺の剖査、眼窩の剖査、外耳・中耳・ 内耳の剖査、各部の細部の剖査　等	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(31) 剖査の確認	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
188～194回	1	14	木	1～3	系統解剖学実習(32) 剖査の確認	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(33) 剖査の確認	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
195～201回	1	20	水	1～3	系統解剖学実習(34) 全身細部の剖査及び総括(最終試問を含む)	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(35) 全身細部の剖査及び総括(最終試問を含む)	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
202～208回	1	21	木	1～3	系統解剖学実習(36) 総括的な剖査、関節の剖査	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)
				4～7	系統解剖学実習(37) 納棺式	小山田常一 真鍋義孝	解剖実習室(医)

年度 2026 学期 1・2Q	曜日・校時 金・3	必修選択 必修	単位数 1
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25014102 DNGD22031901 発生学/(Embryology)		
対象年次 2 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3B	
対象学生(クラス等)	科目分類 口腔生命科学総論		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 松下祐樹/yukimatsushita@nagasaki-u.ac.jp /教授室 /095-819-7630(内 7630)/17:00～18:00			
担当教員(オムニバス科目等)	松下祐樹、森石武史、野口東美、山口博之(非常勤講師)		

授業の概要

人体の構造の知識・理解の上に、受精卵から諸器官が形成される“過程”と“メカニズム”に関する基礎的知識を習得し、人体の正常な構造と機能の“成り立ち”に関して理解を深めることを目的とする。

授業到達目標

一般目標 GIO:

人体の構造における肉眼解剖学的・顕微解剖学的な諸器官形態についての基本的な形態形成過程を系統発生また個体発生学的に説明できるとともに、その分子的制御機構およびその異常に起因する様々な先天異常や疾患の発症メカニズムを理解する。

【令和 4 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】

個別行動目標 SBOs:

1. 原始生殖細胞、卵子・精子の形成、性の決定機構、染色体異常による先天異常を説明できる。	A-2-1-1, 6, 7
2. 排卵、受精、卵割、胚盤胞、着床、卵巣・子宮の組織変化を説明できる。	A-2-1-1, 5
3. 二層性胚盤、三層性胚盤の形成および栄養膜の発達を説明できる。	A-2-1-1
4. 外胚葉(神経管)、中胚葉(体節分節・体節)、内胚葉及び神経堤細胞からの組織・器官形成を説明できる。	A-2-1-1
5. 胎児の発育、胎盤の変化、先天異常の原因、出生前診断の種々の方法、胎児治療を説明できる。	A-2-1-1, 6, 7 A-2-4-4, 6
6. 骨・軟骨の形成機構、頭蓋・四肢・脊柱の形成、四肢発生の分子的制御を説明できる。	A-2-1-1, 3
7. 筋板からの筋パターン形成、上分節・下分節・頭部・顔面の筋形成、漿膜・胸心膜・横隔膜の形成を説明できる。	A-2-1-1, 2, 3
8. 心臓ループの形成、心房・心室・心球への分化、心房・心室中隔形成、胎児循環を説明できる。	A-2-1-1, 4
9. 鰓弓由来の骨・筋・血管・神経、鰓弓・鰓溝・咽頭嚢由来の諸器官の形成を説明できる。	A-2-1-1, 2 A-2-4-2
10. 顔面・舌・上顎骨・下顎骨の形成発育、歯の発生の概略を説明できる。	A-2-1-1, 2 A-2-4-2, 3, 4
11. 脳胞の形成、神経細胞の分化と脊髄の発生、髄脳・後脳・中脳・間脳・終脳の発生、脳神経・自律神経の発生を説明できる。	A-2-1-1, 4
12. 内耳・中耳・外耳の発生、網膜・虹彩・毛様体・水晶体・脈絡膜・強膜・角膜・硝子体の発生、表皮・真皮・毛・汗腺・乳腺の発生を説明できる。	A-2-1-1, 4

対応するディプロマポリシー

ＤＰ１：歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。

授業方法(学習指導法)

教科書を中心に、授業中に配布するプリントを用いて、パワーポイントを用いた講義を行う。

授業内容

1 回目	生殖子形成	9 回目	筋系と体腔
2 回目	発生第 1 週	10 回目	特別講義
3 回目	発生第 2 週、第 3 週	11 回目	頭・頸部-1
4 回目	胚子期	12 回目	頭・頸部-2
5 回目	胎児期、先天異常と出生前診断	13 回目	心臓と脈管
6 回目	総論のまとめ 発生初期から胎児期までを整理し、統合的に理解を深める。	14 回目	中枢神経系
7 回目	骨格系	15 回目	平衡聴覚器、視覚器、外皮系
8 回目	四肢発生		

キーワード	生殖子発生、細胞分化、組織発生、器官形成、胎盤形成、発生の分子的制御、発生異常
教科書・教材・参考書	教科書:ラングマン人体発生学(安田峯生・山田重人訳、メディカル・サイエンス・インターナショナル) 参考書:人体発生学講義ノート 第 2 版 (塩田浩平著、金芳堂)
成績評価の方法・基準等	中間試験および定期試験の成績で評価する。

受講要件(履修条件)	なし
備考(学生へのメッセージ)	図・説明・文章をもとに、組織が作られる様子を頭の中でイメージするようにしてください。 教科書を中心に授業中に配布するプリントを用いて授業を進めるため、各自で教科書を準備してください。
実務経験のある教員による授業科目	松下　祐樹／神戸大学医学部附属病院歯科口腔外科、東京医科歯科大学歯学部附属病院顎顔面外科、長崎大学病院口腔外科における歯科・口腔外科診療の実務経験を踏まえ、人体の諸器官の発生過程とその異常に起因する様々な先天異常や疾患に関する講義を行う。 山口　博之／東京医科歯科大学歯学部附属病院矯正歯科における歯科診療の実務経験を踏まえ、人体の諸器官の発生過程とその異常に起因する様々な先天異常や疾患に関する講義を行う。

日程表(発生学)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	3	金	3	生殖子形成 原始生殖細胞、卵子・精子の形成、性の決定機構、染色体異常による 先天異常について理解する。	松下 森石 野口	講義室3B
2回	4	10	金	3	発生第1週 排卵、受精、卵割、胚盤胞、着床、卵巣・子宮の組織変化について理解する。	松下 森石 野口	講義室3B
3回	4	17	金	3	発生第2週、第3週 発生第2週におこる二層性胚盤の形成、発生第3週におこる三層性胚盤の 形成および栄養膜の発達について理解する。	松下 森石 野口	講義室3B
4回	4	24	金	3	胚子期 外胚葉(神経管)、中胚葉(体節分節・体節)、内胚葉及び神経堤細胞からの 組織・器官形成について理解する。	松下 森石 野口	講義室3B
5回	5	1	金	3	胎児期、先天異常と出生前診断 胎児の発育、胎盤の変化、先天異常の原因、出生前診断の種々の方法、胎 児治療について理解する。	松下 森石 野口	講義室3B
6回	5	8	金	3	総論のまとめ 発生初期から胎児期までを整理し、統合的に理解を深める。	松下 森石 野口	講義室3B
7回	5	15	金	3	骨格系 骨・軟骨の形成機構、頭蓋・四肢・脊柱の形成について理解する。	松下 森石 野口	講義室3B
8回	5	22	金	3	四肢発生 四肢発生の分子的制御について理解する。	松下 森石 野口	講義室3B
9回	5	29	金	3	筋系と体腔 筋板からの筋パターン形成、上分節・下分節・頭部・顔面の筋形成、 漿膜・胸心膜・横隔膜の形成について理解する。	松下 森石 野口	講義室3B
10回	6	5	金	3	特別講義 細胞だってコミュニケーションが大切！？ ～細胞のアンテナのお話～	松下 山口	講義室3B
11回	6	12	金	3	頭・頸部-1 鰓弓由来の骨・筋・血管・神経、鰓弓・鰓溝・咽頭嚢由来の諸器官の形成 について理解する。	松下 山口	講義室3B
12回	6	19	金	3	頭・頸部-2 顔面・舌・上顎骨・下顎骨の形成発育、歯の発生の概略について理解する。	松下 山口	講義室3B
13回	6	26	金	3	心臓と脈管 心臓ループの形成、心房・心室・心球への分化、心房・心室中隔形成、 胎児循環について理解する。	松下 森石 野口	講義室3B
14回	7	3	金	3	中枢神経系 脳胞の形成、神経細胞の分化と脊髄の発生、髄脳・後脳・中脳・間脳・終脳 の発生、脳神経・自律神経の発生について理解する。	松下 森石 野口	講義室3B
15回	7	10	金	3	平衡聴覚器、視覚器、外皮系 内耳・中耳・外耳の発生、網膜・虹彩・毛様体・水晶体・脈絡膜・強膜・角膜・ 硝子体の発生、表皮・真皮・毛・汗腺・乳腺の発生について理解する。	松下 森石 野口	講義室3B

年度 2026 学期 3・4Q	曜日・校時 金・1～7	必修選択 必修	単位数 3
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25014103 DNGD22041901 組織学及び同実習/(Histology and Practice)		
対象年次 2 年次	講義形態 講義・実習形式	教室 講義室 6B、実習室 5B	
対象学生(クラス等)	科目分類 口腔生命科学総論		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 松下祐樹/yukimatsushita@nagasaki-u.ac.jp /教授室 /095-819-7630(内 7632)/17:00～18:00			
担当教員(オムニバス科目等)	講義:松下祐樹、森石武史、野口東美、折笠紫音(非常勤講師) 実習:松下祐樹、森石武史、野口東美		

授業の概要

組織学とは、顕微鏡を用いて正常組織の構造と機能を解析する学問である。本科目では、将来歯科医師として病理変化を正確に判断できるように、正常な細胞組織の構造や形態に関する知識の習得を目指す。

授業到達目標

一般目標 GIO:

人体諸器官の正常な構造及び生理的機能とその機序を理解する。

個別行動目標 SBOs:

	【令和４年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】
1. 上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。	A-3-1-1-1
2. 皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。	A-3-1-1-2
3. 腺の構造と分布及び分泌機構を説明できる。	A-3-1-1-3
4. 支持組織の分類と構成する細胞と細胞間質を説明できる。	A-3-1-2-2
5. 骨と軟骨の組織構造と構成する細胞を説明できる。	A-3-1-2-1, 3, 5
6. 骨発生(軟骨内骨化と膜内骨化)、骨成長及びリモデリングの機序と調節機構を説明できる。	A-3-1-2-1, 4, 5
7. 筋組織の分類と分布を説明できる。	A-3-1-3-1
8. 筋細胞の構造と筋収縮の機序を説明できる。	A-3-1-3-2
9. 造血器官や血液、心臓・血管など循環器系、リンパ系の構造と機能を説明できる。	A-3-1-4-1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
10. 体性神経系と自律神経系の構造と機能を説明できる。	A-3-1-5-2, 3, 4
11. 体性感覚の受容器の構造と機能を説明できる。	A-3-1-6-1, 2
12. 肝臓、胆嚢及び膵臓の構造と機能を説明できる。	A-3-1-7-2
13. 気道系の構造と機能を説明できる。	A-3-1-8-1
14. 肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。	A-3-1-8-2
15. 内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。	A-3-1-9-1, 2
16. 腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。	A-3-1-10-1
17. 男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	A-3-1-11-1

対応するディプロマポリシー

ＤＰ１:歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。

授業方法(学習指導法)

パワーポイントとプリントを用いた講義、および組織標本の観察とスケッチを行う。

授業内容

1 回目: 組織学とは・組織標本の作り方と顕微鏡	9 回目: リンパ性器官 (リンパ節・胸腺・脾臓)
2 回目: 上皮組織	10 回目: 消化器系付属器官 (肝臓・胆嚢・膵臓)
3 回目: 支持組織 (結合組織)	11 回目: 呼吸器系 (喉頭・気管・肺)
4 回目: 支持組織 (軟骨・骨)	12 回目: 泌尿器系 (腎臓・尿管)
5 回目: 筋組織	13 回目: 生殖器系 (精巣・卵巣)
6 回目: 神経組織	14 回目: 内分泌系 (下垂体・甲状腺・副腎)
7 回目: 循環器系 (血液・リンパ液・血管)	15 回目: 感覚器系 (手掌・眼球・内耳)
8 回目: 総論のまとめ	

キーワード	細胞、組織、器官、顕微鏡
教科書・教材・参考書	教科書:入門組織学(牛木辰男著、南江堂) 参考書:標準組織学総論・各論(藤田恒夫、藤田尚男著、医学書院) バーチャルスライド口腔組織学(田畑純著、羊土社) バーチャルスライド組織学(駒崎伸二著、羊土社) 教材:授業プリント、ヒトおよび各種動物の組織標本
成績評価の方法・基準等	筆記試験と実習試験を、それぞれ中間試験と定期試験に分けて行う。また、実習のミニテストやスケッチの評価も行い、総合的に評価する。詳細は講義開始時、および LACS で提示する。実習試験はパワーポイントによる出題形式で行う。
受講要件(履修条件)	なし

備考(学生へのメッセージ)	教科書を読み、各回の授業内容を予習しておきましょう。 教科書・図譜の写真や図だけを見て覚えるのではなく、組織標本を自分の目で観察することで、細胞・組織の種類や構造を識別できるようになって下さい。
実務経験のある教員による授業科目	・松下　祐樹／神戸大学医学部附属病院歯科口腔外科、東京医科歯科大学歯学部附属病院顎顔面外科、長崎大学病院口腔外科における歯科・口腔外科診療の実務経験を踏まえ、組織学に関する講義を行う。 ・折笠　紫音／東京医科歯科大学歯学部附属病院むし歯科における歯科診療の実務経験を踏まえ、組織学に関する講義を行う。

日程表(組織学及び同実習)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	2	金	1-7	組織学総論:組織学とは・組織標本の作り方と顕微鏡 講義:組織学の概説、顕微鏡観察のための標本の作り方、顕微鏡の種類 実習:顕微鏡の使い方	松下・森石・野口	講義室6B・実習室5B
2回	10	9	金	1-7	組織学総論：上皮組織 講義:上皮組織の分類、構成する細胞の組織学的と特徴 実習:各種上皮組織の標本の顕微鏡観察	松下・森石・野口	講義室6B・実習室5B
3回	10	16	金	1-7	組織学総論：支持組織（結合組織） 講義:結合組織の分類、構成成分および機能 実習:各種結合組織の標本の顕微鏡観察	松下・森石・野口	講義室6B・実習室5B
4回	10	23	金	1-7	組織学総論：支持組織（軟骨・骨） 講義:軟骨の分類と構成成分の特徴、骨組織の特徴、軟骨と骨の形成過程 実習:各種軟骨組織および骨組織の標本の顕微鏡観察	松下・森石・野口	実習室5B
5回	10	30	金	1-7	組織学総論：筋組織 講義:筋組織の分類、組織学的特徴および機能 実習:各種筋組織の標本の顕微鏡観察	松下・森石・折笠	講義室6B・実習室5B
6回	11	6	金	1-7	組織学総論：神経組織 講義:神経細胞体、神経線維、膠細胞の組織学的特徴と機能 実習:神経組織の標本の顕微鏡観察	松下・森石・野口	講義室6B・実習室5B
7回	11	13	金	1-7	組織学総論：脈管系・血液・骨髄 講義:血液細胞の組織学的特徴・機能・発生、血管・リンパ管の組織学的特徴 実習:血液塗抹標本の顕微鏡観察	松下・森石・野口	講義室6B・実習室5B
8回	11	20	金	1-7	組織学総論のまとめ	松下・森石・野口	実習室5B
9回	11	27	金	1-7	組織学各論：リンパ性器官 講義:リンパ性器官の組織学的特徴と機能 実習:リンパ節、胸腺、脾臓の標本の顕微鏡観察	松下・森石・野口	実習室5B
10回	12	4	金	1-7	組織学各論：消化管付属器 講義:肝臓、胆嚢、膵臓の組織学的特徴と機能 実習:肝臓、胆嚢、膵臓の標本の顕微鏡観察	松下・森石・折笠	講義室6B・実習室5B
11回	12	11	金	1-7	組織学各論：呼吸器系 講義:気道を構成する呼吸器官の組織学的特徴 実習:喉頭、気管、肺の標本の顕微鏡観察	松下・森石・野口	講義室6B・実習室5B
12回	12	18	金	1-7	組織学各論：泌尿器系 講義:泌尿器の組織学的特徴と機能 実習:腎臓と尿管の標本の顕微鏡観察	松下・森石・野口	講義室6B・実習室5B
13回	1	8	金	1-7	組織学各論：生殖器系 講義:精巣と卵巣の組織学的特徴と機能 実習:精巣と卵巣の標本の顕微鏡観察	松下・森石・野口	講義室6B・実習室5B
14回	1	15	金	1-7	組織学各論：内分泌系 講義:内分泌器官の組織学的特徴と機能 実習:下垂体、甲状腺、副腎の標本の顕微鏡観察	松下・森石・折笠	講義室6B・実習室5B
15回	1	29	金	1-7	組織学各論：皮膚・感覚器系 講義:皮膚および感覚器系の組織学的特徴 実習:手掌と眼球の標本の顕微鏡観察	松下・森石・野口	講義室6B・実習室5B

年度 2026 学期 1・2Q	曜日・校時 水・1～3 or 金・4～6	必修選択 必修	単位数 2
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25014104 DNGD22051902 生理学(Physiology)		
対象年次 2 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3B	
対象学生(クラス等)	科目分類 口腔生命科学総論		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中村渉/wataru_nakamura@nagasaki-u.ac.jp /A 棟 4 階 401 号室/095-819-7636(内 7636)/16:00～18:00			
担当教員(オムニバス科目等)	中村渉		

授業の概要
身体を構成する細胞、組織と器官の機能を理解し、生体として統合的に理解する。

授業到達目標
一般目標 GIO:
歯科口腔医学において、全身の正常な機能を知り、疾患の予防・診断を適切に行い、機能維持を図れるようになるために、生体の特性を理解する。

個別行動目標 SBOs:	【令和 4 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】
1. 生命科学者としの探求心を養成する。	1. A-8-1)
2. 能動的な学びへの鍛錬を行う。	2. A-9-1)
3. 生体を構成する細胞、組織と器官の機能を理解する。	3. C-3-3), C-3-4), E-2-1), E-2-2)

対応するディプロマポリシー
DP1:歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。

授業方法(学習指導法)
教員-学生相互のアクティブラーニングにより、世界水準の生理学教科書を通読する。

授業内容

①1～3 回目	生理学序説	4 月 1 日 (水)	中村 渉
②4～6 回目	細胞機能の基礎	4 月 3 日 (金)	中村 渉
③7～9 回目	血液・心臓・循環	4 月 8 日 (水)	中村 渉
④10～12 回目	神経伝達	4 月 10 日 (金)	中村 渉
⑤13～15 回目	自律神経・内分泌	4 月 15 日 (水)	中村 渉
⑥16～18 回目	生殖・水分調整	4 月 17 日 (金)	中村 渉
⑦19～21 回目	呼吸・環境生理	4 月 22 日 (水)	中村 渉
⑧22～24 回目	中枢神経	4 月 24 日 (金)	中村 渉
⑨25～27 回目	温度・血糖調節	5 月 1 日 (金)	中村 渉
⑩28～30 回目	生理学(講義・実習)まとめ	6 月 19 日 (金)	中村 渉・内田仁司

キーワード	ホメオスタシス, 神経, 興奮, 反射, 感覚, 運動, 脳, 心臓, 血管, 肺, 腎臓, ホルモン
教科書・教材・参考書	教科書: Guyton and Hall Textbook of Medical Physiology 14th Edition 参考書: 1. 標準生理学、第 9 版、本間研一監修、医学書院 2. 基礎歯科生理学、第 7 版、岩田・井上・舩橋・加藤編、医歯薬出版
成績評価の方法・基準等	期末試験の成績により評価する。
受講要件(履修条件)	なし
備考(学生へのメッセージ)	世界中で読まれている「Guyton Physiology」を通読しましょう。
実務経験のある教員による授業科目	中村 渉/ 北海道大学病院歯科診療センターにおける歯科臨床実務経験/小児障がい者歯科臨床実務経験に基づき生理学講義を担当する。

日程表(生理学)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	1	水	1	生理学①生理学概論、生理学の位置づけ	中村　渉	講義室3B
2回	4	1	水	2	生理学①生理学概論、ホメオスタシスと動的恒常性	中村　渉	講義室3B
3回	4	1	水	3	生理学①細胞間および細胞内の恒常性維持機構	中村　渉	講義室3B
4回	4	3	金	4	生理学②細胞の基本構造と機能	中村　渉	講義室3B
5回	4	3	金	5	生理学②神経細胞の構造と機能	中村　渉	講義室3B
6回	4	3	金	6	生理学②血液成分，赤血球の働き，白血球の働き，血液型，血液凝固機序	中村　渉	講義室3B
7回	4	8	水	1	生理学③心臓の構造と機能	中村　渉	講義室3B
8回	4	8	水	2	生理学③全身各部の血流量、血管系の機能的区分	中村　渉	講義室3B
9回	4	8	水	3	生理学③血行力学、動脈血圧、微小循環、循環調節、特殊部位の循環	中村　渉	講義室3B
10回	4	10	金	4	生理学④興奮伝導機構、活動電位、伝導速度、神経線維の分類	中村　渉	講義室3B
11回	4	10	金	5	生理学④神経シナプスの構造，神経筋接合部の構造と機能	中村　渉	講義室3B
12回	4	10	金	6	生理学④神経筋接合部の生理学と筋収縮機構	中村　渉	講義室3B
13回	4	15	水	1	生理学⑤遺伝子の基本構造・機能とタンパク質の合成	中村　渉	講義室3B
14回	4	15	水	2	生理学⑤自律神経系の構造と機能	中村　渉	講義室3B
15回	4	15	水	3	生理学⑤内分泌系の構造と機能	中村　渉	講義室3B
16回	4	17	金	4	生理学⑥体液-腎臓系の構造と機能	中村　渉	講義室3B
17回	4	17	金	5	生理学⑥男性生殖器系の構造と機能	中村　渉	講義室3B
18回	4	17	金	6	生理学⑥女性生殖器系の構造と機能	中村　渉	講義室3B
19回	4	22	水	1	生理学⑦呼吸器系：肺の構造と機能	中村　渉	講義室3B
20回	4	22	水	2	生理学⑦血液中のガス運搬，呼吸運動の調節機序，酸塩基平衡	中村　渉	講義室3B
21回	4	22	水	3	生理学⑦呼吸器系の環境生理学	中村　渉	講義室3B

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
22回	4	24	金	4	生理学⑧中枢神経系と末梢神経系の構成と機能	中村　渉	講義室3B
23回	4	24	金	5	生理学⑧特殊感覚器系の構成と機能	中村　渉	講義室3B
24回	4	24	金	6	生理学⑧体性感覚の構成と機能	中村　渉	講義室3B
25回	5	1	金	4	生理学⑨末梢性体温調節機構	中村　渉	講義室3B
26回	5	1	金	5	生理学⑨中枢性体温調節機構	中村　渉	講義室3B
27回	5	1	金	6	生理学⑨血糖調節機構	中村　渉	講義室3B
28回	6	19	金	4	生理学⑩(講義・実習)まとめ1	中村　渉・内田仁司	講義室3B
29回	6	19	金	5	生理学⑩(講義・実習)まとめ2	中村　渉・内田仁司	講義室3B
30回	6	19	金	6	生理学⑩(講義・実習)まとめ3	中村　渉・内田仁司	講義室3B

年度 2026 学期 1・2Q	曜日・校時 水・1～3 or 金・4～6	必修選択 必修	単位数 1
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25014126 DNGD22061902 生理学実習/ (Physiology Practice)		
対象年次 2 年次	講義形態 実習形式	教室 実習室 5C、講義室 3B	
対象学生(クラス等)		科目分類 口腔生命科学総論	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中村渉/wataru_nakamura@nagasaki-u.ac.jp /A 棟 4 階 25 号室/095-819-7636(内 7636)/16:00～18:00			
担当教員(オムニバス科目等)	中村渉、内田仁司		

授業の概要
身体を構成する細胞、組織と器官の機能を理解し、生体として統合的に理解する。

授業到達目標
一般目標 GIO:
歯科口腔医学において、全身の正常な機能を知り、疾患の予防・診断を適切に行い、機能維持を図れるようになるために、生体の特性を理解する。

個別行動目標 SBOs:
1. 生命科学者としの探求心を養成する。
2. 能動的な学びへの鍛錬を行う。
3. 生体を構成する細胞、組織と器官の機能を理解する。

【令和 4 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】
1. A-8-1)
2. A-9-1)
3. C-3-3), C-3-4), E-2-1), E-2-2)

授業方法(学習指導法)
3 グループに分かれ、6 課題をローテーションする。

授業内容

①	オリエンテーション	5月 8日(金)4～6	担当:中村・内田
②	1-1「口腔感覚 am」「内分泌 am」「循環 am」	5月13日(水)1～3	担当:中村・内田
③	1-2「口腔感覚 pm」「内分泌 pm」「循環 pm」	5月15日(金)4～6	担当:中村・内田
④	1-3「口腔感覚 am」「内分泌 am」「循環 am」	5月20日(水)1～3	担当:中村・内田
⑤	2-1「外分泌 pm」「内分泌 pm」「循環 pm」	5月22日(金)4～6	担当:中村・内田
⑥	2-2「外分泌 am」「内分泌 am」「循環 am」	5月27日(水)1～3	担当:中村・内田
⑦	2-3「外分泌 pm」「内分泌 pm」「循環 pm」	5月29日(金)4～6	担当:中村・内田
⑧	発表割り振り・レポート作成	6月 3日(水)1～3	担当:中村・内田
⑨	実習成果発表会	6月 5日(金)4～6	担当:中村・内田
⑩	生理学(講義・実習)総括問題演習	6月17日(水)1～3	担当:中村

対応するディプロマポリシー
DP1:歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。

キーワード	内分泌、生体リズム、感覚、呼吸・循環、酵素
教科書・教材・参考書	各実習用レジメを配布する。 参考書 1 Guyton and Hall Textbook of Medical Physiology 14th Edition 2 基礎歯科生理学、第 7 版、岩田・井上・舩橋・加藤編、医歯薬出版 3 新訂生理学実習書、日本生理学会教育委員会、南江堂 4 標準生理学、第 9 版、本間研一監修、医学書院
成績評価の方法・基準等	レポート・実習に臨む姿勢(特に遅刻および無断欠席は減点の対象とする)と定期試験の成績により評価する。
受講要件(履修条件)	なし
備考(学生へのメッセージ)	1) 3 グループに分かれ、6 課題についてローテーションする。 2) 事前に実験項目を参考書等で予習し、実験の目的・方法を理解しておくこと。
実務経験のある教員による授業科目	中村 渉/北海道大学病院歯科診療センターにおける歯科臨床実務経験/小児障がい者歯科臨床実務経験に基づき生理学実習を担当する。

日程表(生理学実習)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	5	8	金	4	生理学実習①オリエンテーション1 生理学実習を行う際の注意事項について説明する。	中村渉・内田仁司	実習室5A/C
2回	5	8	金	5	生理学実習①オリエンテーション2 レジメを配付し、各実験の内容および手順を解説する。	中村渉・内田仁司	実習室5A/C
3回	5	8	金	6	生理学実習①オリエンテーション3 レジメを配付し、各実験の内容および手順を解説する。	中村渉・内田仁司	実習室5A/C
4回	5	13	水	1	生理学実習②実習(1-1) 3グループに分かれ「外分泌am」「内分泌am」「循環am」に関する実習説明 「口腔感覚am」「内分泌am」「循環am」に関する実習	中村渉・内田仁司	実習室5A/C
5回	5	13	水	2		中村渉・内田仁司	実習室5A/C
6回	5	13	水	3		中村渉・内田仁司	実習室5A/C
7回	5	15	金	4	生理学実習③(1-2) 3グループに分かれ「外分泌pm」「内分泌pm」「循環pm」に関する実習説明 「口腔感覚pm」「内分泌pm」「循環pm」に関する実習	中村渉・内田仁司	実習室5A/C
8回	5	15	金	5		中村渉・内田仁司	実習室5A/C
9回	5	15	金	6		中村渉・内田仁司	実習室5A/C
10回	5	20	水	1	生理学実習④(1-3) 3グループに分かれ「外分泌am」「内分泌am」「循環am」に関する実習説明 「口腔感覚am」「内分泌am」「循環am」に関する実習	中村渉・内田仁司	実習室5A/C
11回	5	20	水	2		中村渉・内田仁司	実習室5A/C
12回	5	20	水	3		中村渉・内田仁司	実習室5A/C
13回	5	22	金	4	生理学実習⑤(2-1) 3グループに分かれ「外分泌pm」「内分泌pm」「循環pm」に関する実習説明 「データ処理pm」「内分泌pm」「循環pm」に関する実習	中村渉・内田仁司	実習室5A/C
14回	5	22	金	5		中村渉・内田仁司	実習室5A/C
15回	5	22	金	6		中村渉・内田仁司	実習室5A/C
16回	5	27	水	1	生理学実習⑥(2-2) 3グループに分かれ「外分泌am」「内分泌am」「循環am」に関する実習説明 「データ処理am」「内分泌am」「循環am」に関する実習	中村渉・内田仁司	実習室5A/C
17回	5	27	水	2		中村渉・内田仁司	実習室5A/C
18回	5	27	水	3		中村渉・内田仁司	実習室5A/C

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
19回	5	29	金	4	生理学実習⑦(2-3) 3グループに分かれ「外分泌pm」「内分泌pm」「循環pm」に関する実習説明 「データ処理pm」「内分泌pm」「循環pm」に関する実習	中村渉・内田仁司	実習室5A/C
20回	5	29	金	5		中村渉・内田仁司	実習室5A/C
21回	5	29	金	6		中村渉・内田仁司	実習室5A/C
22回	6	3	水	1	生理学実習⑧データ解析 各項目で作成したレポートまとめ、プレゼンテーションの割り振り、各班プレゼンテーションの作成を行う。	中村渉・内田仁司	実習室5A
23回	6	3	水	2		中村渉・内田仁司	実習室5A
24回	6	3	水	3		中村渉・内田仁司	実習室5A
25回	6	5	金	4	生理学実習⑨成果プレゼンテーション1「外分泌am/pm」	中村渉・内田仁司	講義室3B
26回	6	5	金	5	生理学実習⑨成果プレゼンテーション2 「内分泌am/pm」	中村渉・内田仁司	講義室3B
27回	6	5	金	6	生理学実習⑨成果プレゼンテーション3 「循環am/pm」	中村渉・内田仁司	講義室3B
28回	6	17	水	1	生理学実習⑩(講義・実習)総括問題演習1	中村渉	講義室3B
29回	6	17	水	2	生理学実習⑩(講義・実習)総括問題演習2	中村渉	講義室3B
30回	6	17	水	3	生理学実習⑩(講義・実習)総括問題演習3	中村渉	講義室3B

年度 2026 学期 1・2Q	曜日・校時 金・1～2	必修選択 必修	単位数 2
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25014106 DNGD22071905 生化学/ (Biochemistry)		
対象年次 2 年次	講義形態 講義・演習形式	教室 講義室 3B	
対象学生(クラス等)	科目分類 口腔生命科学総論		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 伊藤公成 / itok@nagasaki-u.ac.jp / A 棟 7 階 707 号室 / 095-819-7487(内 7487) / 12:00～13:00			
担当教員(オムニバス科目等)	伊藤公成/itok@, 大谷昇平/s-otani@ 武田弘資 (非常勤講師/医歯薬系(薬)教授)/takeda-k@		

授業の概要

生命現象の基本となる生体分子の構造と機能, 及び生化学反応の原理や代謝反応を学び, 生命活動を分子レベルの現象として理解する。

授業到達目標

一般目標 GIO:一般目標 GIO: 生化学の知識を習得するとともに、科学的論理的な考え方の重要性を理解する。

【令和4年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】

個別行動目標 SBOs:

(1) アミノ酸, 単糖, 脂肪酸, ヌクレオチドの構造や代謝系を説明できる。	A-1-1, A-1-2, A-1-3
(2) それらの重合体である生体高分子の構造と機能, 及びその代謝系を説明できる。	A-1-1, A-1-2, A-1-3
(3) 基礎的な化学平衡, 化学反応速度論, 熱力学を説明できる。	A-1-1, A-1-2
(4) 遺伝情報の流れを説明できる。	A-1-1, A-1-2, A-1-3, A-1-4
(5) 細胞内微小構造とその間での物質やエネルギーの移動を説明できる。	A-1-2, A-1-3, A-1-4, A-1-5
(6) ミトコンドリアの構造と機能を説明できる。	A-1-2, A-1-4, A-1-5

対応するディプロマポリシー

DP1: 歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。

授業方法(学習指導法)

2つの教科書の内容を中心にプロジェクターを用いたアクティブラーニング。
1年次 細胞生物学入門で既習の章は演習問題が中心となる。

授業内容

1 回目	細胞:生命の基本単位 細胞の化学成分	伊藤 公成
2 回目	糖質・脂質の基本	伊藤 公成
3 回目	酵素	大谷 昇平
4 回目	ビタミン	大谷 昇平
5 回目	糖質の代謝-1	伊藤 公成
6 回目	糖質の代謝-2	伊藤 公成
7 回目	脂質の代謝-1	伊藤 公成
8 回目	脂質の代謝-2	伊藤 公成
9 回目	DNA と染色体	伊藤 公成
10 回目	DNA の複製と修復	伊藤 公成
11 回目	DNA からタンパク質へ	伊藤 公成
12 回目	アミノ酸の代謝	伊藤 公成
13 回目	モノヌクレオチドの代謝	伊藤 公成
14 回目	(特別講義) ミトコンドリアの生化学	武田 弘資
15 回目	現在の組換え DNA 技術	伊藤 公成

キーワード	生体高分子, 遺伝子, 酵素, 核酸, タンパク質, 糖質, 脂質
教科書・教材・参考書	教科書: Essential 細胞生物学 (南江堂) シンプル生化学 (南江堂) 参考書: メディカル化学: 医歯薬系のための基礎化学 (裳華房) 口腔生化学 (医歯薬出版)
成績評価の方法・基準等	2 回の筆記試験で評価する。
受講要件(履修条件)	なし
備考(学生へのメッセージ)	教科書や LACS での予習復習が重要。
実務経験のある教員による授業科目	該当しない。

日程表(生化学)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	3	金	1, 2	Essential 細胞生物学 1, 2 細胞:生命の基本単位　細胞の化学成分	伊藤公成	講義室3B
2回	4	10	金	1, 2	シンプル生化学 2, 3 糖質・脂質の基本	伊藤公成	講義室3B
3回	4	17	金	1, 2	シンプル生化学　6 酵素	大谷昇平	講義室3B
4回	4	24	金	1, 2	シンプル生化学　7 ビタミン	大谷昇平	講義室3B
5回	5	1	金	1, 2	シンプル生化学　10 糖質の代謝-1	伊藤公成	講義室3B
6回	5	8	金	1, 2	シンプル生化学　10 糖質の代謝-2	伊藤公成	講義室3B
7回	5	15	金	1, 2	シンプル生化学　11 脂質の代謝-1	伊藤公成	講義室3B
8回	5	22	金	1, 2	シンプル生化学　11 脂質の代謝-2	伊藤公成	講義室3B
9回	5	29	金	1, 2	Essential 細胞生物学 5 DNAと染色体	伊藤公成	講義室3B
10回	6	5	金	1, 2	Essential 細胞生物学 6 DNAの複製と修復	伊藤公成	講義室3B
11回	6	12	金	1, 2	Essential 細胞生物学 7 DNAからタンパク質へ	伊藤公成	講義室3B
12回	6	19	金	1, 2	シンプル生化学　12 アミノ酸の代謝	伊藤公成	講義室3B
13回	6	26	金	1, 2	シンプル生化学　13 モノヌクレオチドの代謝	伊藤公成	講義室3B
14回	7	3	金	1, 2	特別講義 ミトコンドリアの生化学	武田弘資	講義室3B
15回	7	10	金	1, 2	Essential 細胞生物学 10 現在の組換えDNA技術	伊藤公成	講義室3B

年度 2026 学期 3・4Q	曜日・校時 火・4～6	必修選択 必修	単位数 1
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25014107 DNGD22081905 生化学実験/(Practice of Biochemistry)		
対象年次 2 年次	講義形態 実習形式	教室 実習室 5A	
対象学生(クラス等)	科目分類 口腔生命科学総論		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 伊藤公成 / itok@nagasaki-u.ac.jp / A 棟 7 階 707 号室 / 095-819-7487(内 7487) / 12:00～13:00			
担当教員(オムニバス科目等)	伊藤公成/itok@, 大谷昇平/s-otani@, 上野智也/uenot@		

授業の概要

分光測光法, ゲルクロマトグラフィー, タンパク質の SDS-PAGE, PCR による遺伝子増幅を実践し, その技術を身につける。
ライフサイエンスの発展に寄与してきた基本的な実験手技を経験し, その原理を理解し, 重要性を実感する。
実験ノート・レポートの作成を通じて, 論理性を養う。

授業到達目標

一般目標 GIO:
実験を通して, 論理的な考え方の重要性を理解し, 科学的に証明する
能力を身につける。

【令和4年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】
A-1-1, A-1-2, A-1-3
A-1-1, A-1-2, A-1-3, C-1-3
C-1-3, E-6-1

個別行動目標 SBOs:
1.各実習内容を説明できる。
2.生化学の基礎的技術を用いて実験が遂行できる。
3.実験結果をまとめ, レポートや口頭で発表できる。

対応するディプロマポリシー
DP1: 歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。

授業方法(学習指導法)

グループによる実験を行う。実験内容を理解と整理のため, 実験後, 期日までにレポートを提出する。

授業内容

1 回目 オリエンテーション:実習に関するガイダンス, 実験器具の準備
2 回目 分光光度計の使用法を学び, 分光測光法の原理を理解する。
3 回目 ゲルクロマトグラフィーの原理と手法を学ぶ。
4 回目 SDS ポリアクリルアミドゲル電気泳動(SDS-PAGE)の理論を学ぶ。
5 回目 SDS-PAGE の手技を学ぶ。
6 回目 遺伝子型の決定と PCR 法について学ぶ。
7 回目 PCR 法の手技について学ぶ。
8 回目 増幅 DNA をアガロースゲルで電気泳動し, 遺伝子型を判別する方法を学ぶ
9 回目 追加実験・再実験
10 回目 実験・実習のまとめ

キーワード	定量実験, PCR, クロマトグラフィー, ゲル電気泳動, 分光光度計
教科書・教材・参考書	教科書:オリジナルの生化学実験テキストを配布 参考書:Essential 細胞生物学 (南江堂), シンプル生化学 (南江堂)
成績評価の方法・基準等	レポートおよび定期試験により評価する。
受講要件(履修条件)	なし
備考(学生へのメッセージ)	事前に実習書を読み, 実習の意味と流れをつかむ。実習手順のプロトコールを作成し, 実習に臨むこと。
実務経験のある教員による授業科目	該当しない。

日程表(生化学実験)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	9	29	火	4～6	オリエンテーション 実習器具や装置の取り扱い方，レポートの書き方等のガイダンス 実習器具や装置の準備	伊藤 大谷 上野	実習室5A
2回	10	6	火	4～6	(Aグループ)分光測光法 溶液の希釈法や分光光度計の使用法を学び，測定法の原理を理解する。 (Bグループ)SDS電気泳動法によるタンパク質の分子量決定1 還元及び非還元状態で電気泳動を行う。	伊藤 大谷 上野	実習室5A
3回	10	13	火	4～6	(Aグループ)ゲルクロマトグラフィー ゲルクロマトグラフィーで混合物を分離する。 (Bグループ)SDS電気泳動法によるタンパク質の分子量決定2 ゲル上でタンパク質を染色し，検出・観察する。	伊藤 大谷 上野	実習室5A
4回	10	20	火	4～6	(Aグループ)SDS電気泳動法によるタンパク質の分子量決定1 還元及び非還元状態で電気泳動を行う。 (Bグループ)分光測光法 溶液の希釈法や分光光度計の使用法を学び，測定法の原理を理解する。	伊藤 大谷 上野	実習室5A
5回	10	27	火	4～6	(Aグループ)SDS電気泳動法によるタンパク質の分子量決定2 ゲル上でタンパク質を染色し，検出・観察する。 (Bグループ)ゲルクロマトグラフィー ゲルクロマトグラフィーで混合物を分離する。	伊藤 大谷 上野	実習室5A
6回	11	10	火	4～6	PCRと遺伝子型決定についての説明	伊藤 大谷 上野	実習室5A
7回	11	17	火	4～6	ゲノムDNAの調製と表現型・遺伝子型1 細胞からDNAを精製し，PCRにより遺伝子を増幅する。	伊藤 大谷 上野	講義室5A
8回	11	24	火	4～6	ゲノムDNAの調製と表現型・遺伝子型2 制限酵素処理及びアガロースゲル電気泳動を行い，遺伝子型を判定する。	伊藤 大谷 上野	実習室5A
9回	12	1	火	4～6	追加実験および再実験	伊藤 大谷 上野	実習室5A
10回	12	8	火	4～6	実験・実習のまとめ （予備日）	伊藤 大谷 上野	実習室5A

年度 2026 学期 1Q	曜日・校時 水 III～IV	必修選択 必修	単位数 1.5
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25064424 DNGD11131067 歯科学のための生物科学/Biological Science for Dentistry		
対象年次 2年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3B	
対象学生(クラス等)		科目分類 総合科目	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤山理恵/ rierika@nagasaki-u.ac.jp /総合歯科臨床教育学/095-819-7760(内 7760)/16:00-17:30			
担当教員(オムニバス科目等)	講義: 藤山理恵 実習: 藤山理恵		

授業の概要

日本の 80 歳以上の人口割合は 10% を超えた(2024 年のデータ)。そして 2025 年度発表の厚生労働省による「令和 6 年 歯科疾患実態調査」の概要では、8020 達成者の割合は 61.5% と報告された。これは 2 年前の前回から 10% 以上の上昇となっている。そのため、今後は全身的有病者への歯科治療はさらに増加する。歯科医師として全身的病態を理解した上での治療を行うことはもちろん、多科にわたる医師との連携が必要となる。さらに周術期口腔機能管理の必要性、地域包括ケア・栄養サポートシステムへの参加など歯科医師は多様な対応を求められる時代となった。このような歯科臨床の変化に対応するため、歯学部教育の早期に人間の諸器官の構造と機能の基礎を学ぶ本授業は、医学の専門的知識を身に付ける第一歩に位置づけられる。さらに本授業は、歯科医師として今まで以上に重要となる臨床医学における病態の理解を深めるための橋わたしとなる。

授業到達目標	【令和4年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】
一般目標 GIO:	
人間のミクロからマクロにいたる諸器官の構造と機能の基礎を学び、ヒトの生命について理解する。	PR-01,04 RE-01,02,03 PS-01,02,05
人体の正常構造と機能の基礎的知識を習得し、病態への興味をもつ。	A-1-2-1,2,3,4,5,6,7,8,9
習得した知識から、病態について自らの力で考えることにより探求・解決能力を身に付ける。	A-1-4-1,2,3 A-3-1-4-1,2,3,4,5,6,7,8
個別行動目標 SBOs:	A-3-1-5-1,2,3,7,8
1. 得られた知識を統合して自分の考えを表現し、病態を分析できる。	A-3-1-6-1,2,3,4
2. 味覚伝達のメカニズムを説明できる。	A-3-1-7-1,2
3. 味覚障害の原因、診察、検査、診断および治療方針を説明できる。	A-3-1-8-1,2
4. 細胞の構造と機能・情報伝達機構を説明できる。	A-3-1-9-1,2,3
5. 血液循環器系の基本構造と機能を説明できる。	A-3-1-10-1,2,3
6. 呼吸器系の基本構造と機能を説明できる。	A-4-2-1,2,3,6
7. 消化器系の基本構造と機能を説明できる。	D-3-1-11-4
8. 泌尿器系の基本構造と機能を説明できる。	E-2-2-6
9. 内分泌系の基本構造と機能を説明できる。	
10.自律神経系と感覚器系の基本構造と機能を説明できる。	

対応するディプロマポリシー

・歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。
・歯科口腔医療の現場における問題発見・解決能力を身につけ、リサーチマインドを修得している。
・多様化する歯科口腔医療のニーズに即応し、先端的医療を実践するために、生涯にわたり自己主導型学修を継続できる。

授業方法(学習指導法)

項目ごとにプリントを配布する。液晶プロジェクター、および板書を用いて、人体の構造と機能を体系的に学習する。
項目ごとに小テストを行い、各項目における機能の基本的なメカニズムの理解および説明できる思考が習得できているか確認する。
正常構造と機能を理解する中で、学生自身が疾患を理論的に考えられるようなお題を出題する。
また講義終了後、知識の定着を目的に、各自レポートを提出する。
知識習得確認のため、器官ごとの授業にて CBT や歯科医師国家試験などの問題演習を行う。
授業はすべて対面形式で行う。

授業内容 1 回目　歯科学のための生物科学　序論、味覚の基礎と臨床、味覚障害の体験実習、細胞の興奮 2 回目　血液・循環系　1 3 回目　血液・循環系　2 4 回目　呼吸器系　1 5 回目　呼吸器系　2 6 回目　消化器系　1 7 回目　消化器系　2 8 回目　泌尿器系　1 9 回目　泌尿器系　2 10 回目　内分泌系 11 回目　自律神経系　感覚器系 12 回目　定期試験	
キーワード	味覚，味覚障害，血液・循環器系，呼吸器系，消化器系，泌尿器系，内分泌系，自律神経系、 感覚器系
教科書・教材・参考書	参考書: トートラ人体解剖生理学（原著11版）、佐原由香・細谷安彦・高橋研一・桑木共之　翻訳（丸善出版） カラー図解　人体の正常構造と機能　全10巻縮刷版 改訂第5版、河原克雅・坂井建雄（日本医事新報社）
成績評価の方法・基準等	レポート(10 点)＋定期試験期間中に行う筆記試験(90 点) =合計 100 点のうち 60 点以上を合格とする。
受講要件(履修条件)	出席数が講義数の 2/3 に満たないものは定期試験（筆記試験）を受けることは出来ません。
備考(学生へのメッセージ)	講義終了後は教科書あるいは配布資料を復習すること。講義の途中または最後に小テストを行うので、理解の確認をすること。
実務経験のある教員による授業科目	・藤山　理恵/大学病院での味覚外来担当による診療経験/歯科学で必要な生理学を中心とした知識を習得し、病態への興味を引き出す。

日程表(歯科学のための生物科学)

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	8	水	Ⅲ	序論　歯科医師の社会的な役割・歯科医師となるために学ぶべきこと 味覚の基礎と臨床、味覚障害の体験実習、細胞の興奮	藤山	講義室3B
2回	4	15	水	Ⅲ	血液・循環系1	藤山	講義室3B
3回	4	15	水	Ⅳ	血液・循環系2	藤山	講義室3B
4回	4	22	水	Ⅲ	呼吸器系 1	藤山	講義室3B
5回	4	22	水	Ⅳ	呼吸器系　2	藤山	講義室3B
6回	5	13	水	Ⅲ	消化器系　1	藤山	講義室3B
7回	5	13	水	Ⅳ	消化器系　2	藤山	講義室3B
8回	5	20	水	Ⅲ	泌尿器系　1	藤山	講義室3B
9回	5	20	水	Ⅳ	泌尿器系 2	藤山	講義室3B
10回	5	27	水	Ⅲ	内分泌系	藤山	講義室3B
11回	6	3	水	Ⅲ	自律神経系　感覚器系	藤山	講義室3B
12回	6	10	水	Ⅲ	定期試験	藤山	講義室3B

※Ⅲ校時の講義は、教養教育の「プラネタリーヘルスⅡ科目」となります。
　Ⅳ校時の講義は、2024年度入学者対象です。

専門教養科目

（1）長崎大学歯学部グローカルインターンシップ・プログラム（2年）・・・・・300
（2）実践臨床歯科英会話（4年）・・・・・304

年度 2026 学期 3/4Q	曜日・校時 月曜・火曜・水曜 1～3	必修選択　必修	単位数 6
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25094902 DNGD11161098 長崎大学歯学部グローカルインターンシップ・プログラム ／　Nagasaki University School of Dentistry Glocal Internship Program		
対象年次　2 年次	講義/演習形式	教室　講義室 6B	
対象学生(クラス等)	科目分類　専門教養科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 歯学部教務委員長/gaku_den@ml.nagasaki-u.ac.jp/歯学部学務係/095-819-77613/9:00～17:00			
担当教員(オムニバス科目等)	小山田常一、松下祐樹、中村渉、内田仁司、片瀬直樹、内藤真理子、筑波隆幸、渡邊郁哉、伊藤公成、門脇知子、佐藤啓子、住田吉慶、井隆司、入江浩一郎、吉田教明、佛坂斉祉、藤田優子、吉村篤利、岩下未咲、澤瀬隆、尾立哲郎、原田佳枝、平曜輔、山田志津香、山田朋弘、角美佐、高木幸則、讃岐拓郎、倉田眞治、近藤好夫		

授業の概要

基礎、臨床歯学各分野の研究室で行われている最先端の生命科学研究活動を理解し、歯科医学研究に関するリサーチマインドを涵養する。歯科医学に関連する国際的な最先端の医学に関連する研究を体験することで、3 年次より選択科目として開講される(長崎大学歯学部の特徴の一つである)歯学研究コースへの入門編として同コース(定員 20 名)へのリクルートをはかる。地球規模の視野で考え、地域視点で行動するグローカルリーダーを育成する。

授業到達目標

一般目標 GIO:

1) 医学・医療の発展のための医学研究の必要性を十分に理解し、批判的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与する基礎的な知識、態度を概説する。
2) 広く歯学を理解できる国際人としての視野を広げ、異種文化を理解できるよう必要とされる知識・技能・態度を身につける。
3) 長崎大学が提唱する「グローカル：地球規模の視野で考え、地域視点で行動する(Think globally, act locally)を実践するための広い視野を身につける。

個別行動目標 SBOs:

1. 地球規模の視野で考え、地域視点で行動することの重要性を説明できる。
2. 歯科医療の継続的な改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。
3. 歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理できる。
4. 国際共同研究による科学的研究(臨床研究、疫学研究、生命科学研究等)に積極的に参加する。

【令和 4 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】
LL:生涯にわたって共に学ぶ姿勢(Lifelong Learning)
RE:科学的探究(Research)
PS:専門知識に基づいた問題解決能力(Problem Solving)
IT:情報・科学技術を活かす能力(Information Technology)
上記の資質・能力に加えて以下の学修目標も参考にして欲しい
C　社会と歯学:C-2　探求と解決能力

応するディプロマポリシー

DP5:歯科口腔医療の現場における問題発見・解決能力を身につけ、リサーチマインドを修得している。
DP6:多様化する歯科口腔医療のニーズに即応し、先端的医療を実践するために生涯に亘り自己主導型学習を継続できる。
DP8:患者に信頼感と安心感を与えることができる高いコミュニケーション能力を身につけている。
DP10:離島へき地をはじめとする地域・国際社会に貢献する強い意思を持って、歯科口腔医療を実践できる。
DP11:未来の医療を切り拓くための先端的研究に興味を持ち、歯科口腔医学の発展に貢献できる能力を身につけている。

授業方法(学習指導法)

1) 歯学部の Principal Investigator (PI;主任研究者/教授・准教授)による最新研究知見のワークショップ(オムニバス講義)
2) 海外(短期)留学経験者による、学修認定報告会
3) 歯学研究コース履修者による研究成果報告会
4) 英語でのオンラインコースの受講(別紙参照)

授業内容

1) 歯学部の Principal Investigator (PI;主任研究者/教授・准教授)による最新研究知見のワークショップ(オムニバス講義)聴講
2) 海外(短期)留学経験者による、学修認定報告会への参加
3) 歯学研究コース履修者による研究成果報告会の聴講とプレゼン審査 (学生(2 年生)審査員による投票)
4) 推奨するオンラインコースから希望のコースを受講(20 時間以上の学習を要する)

キーワード	リサーチマインド
教科書・教材・参考書	各コース教員の指定する教材
成績評価の方法・基準等	講義内容に関するレポートと自習時間でのオンラインコースの受講修了証の提出で評価する
受講要件(履修条件)	総授業数の 2/3 以上の出席が必要
備考(学生へのメッセージ)	各教員に積極的に質問してください。

「長崎大学グローカルインターンシップ・プログラム」 日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	9	28	月	1-3	(教務委員長)長崎大学グローカルインターンシップ・プログラムについて (歯周歯内治療学)世界的規模での歯周病学におけるトピックスと長崎・離島へき地における地域的問題点について概説する	教務委員長 吉村篤利	講義室6B
2回	9	29	火	1-3	(硬組織発生再生学) 歯科医師が研究することで広がる無限の可能性 ― 骨の科学が世界を救う ―	松下 祐樹	講義室3A
3回	9	30	水	1-3	(顎顔面解剖学) 歯の形態からみた形質人類学と歯の古病理学	小山田常一	講義室6B
4回	10	5	月	1-3	(加齢口腔生理学) 口腔機能の加齢変化について、唾液腺機能の観点から唾液腺研究の動向とアメリカ留学の体験を交えて紹介する	内田 仁司	講義室6B
5回	10	6	火	1-3	(加齢口腔生理学) 日常生活の生理的タイミングを制御するサーカディアンリズムのメカニズムについて、加齢口腔生理学分野で取り組むChrono-Dentistryの視点から解説する	中村 渉	講義室6B
6回	10	7	水	1-3	(口腔病理学) 診断病理学の臨床への貢献、病理学研究の事例 人体病理学と研究倫理	永野 健一	講義室6B
7回	10	13	火	1-3	(口腔病原微生物学) 歯周病原細菌のゲノム解析研究について実例を用いて説明する さらにゲノム解析結果を応用した研究について解説を行う	内藤真理子	講義室6B
8回	10	14	水	1-3	(歯科薬理学) 細胞内小器官のリソソームの機能と病態について解説する	筑波 隆幸	講義室6B
9回	10	19	月	1-3	(生体材料学) 生体材料とは？ 生体材料の諸性質と利用法等について 材料科学的手法に基づいて解説する。	渡邊 郁哉	講義室6B
10回	10	20	火	1-3	予備日		講義室6B
11回	10	21	水	1-3	(分子腫瘍生物学) 腫瘍の発症と悪性化を支配する転写因子の機能について，最新の知見を 紹介する	伊藤 公成	講義室6B
12回	10	26	月	1-3	(フロンティア口腔科学) 細胞内分子輸送と免疫応答	門脇 知子	講義室6B
13回	10	27	火	1-3	(フロンティア口腔科学) 病原細菌のタンパク質分泌機構と運動機構の概説します	佐藤 啓子	講義室6B
14回	10	28	水	1-3	(先進口腔医療開発学) 口腔疾患を対象とした再生医療研究について、最新の基礎研究成果や 実用化に近い取り組みなどを紹介する	住田 吉慶	講義室6B
15回	11	4	水	1-3	(先進口腔医療開発学) 放射線治療後やシューグレン症候群における唾液腺疾患に対する最新の治療や これまでの基礎研究成果～実用化までを含めた取り組みを紹介する	井 隆司	講義室6B
16回	11	9	月	1-3	(口腔保健学) 口腔・腸内細菌叢と宿主との相互作用に関する研究成果について解説する ビッグデータを活用した新たな予防歯科のアプローチ法について解説する	入江浩一郎	講義室6B
17回	11	10	火	1-3	(歯科矯正学) 矯正歯科医療～世界の潮流と未来展望	吉田 教明	講義室6B
18回	11	11	水	1-3	(歯科矯正学) 矯正力による生体の応答と歯の移動のメカニズム	佛坂斎祉	講義室6B
19回	11	16	月	1-3	(発達育成歯科学) 口腔機能の発達と顎骨の成長について	藤田 優子	講義室6B
20回	11	17	火	1-3	(歯周歯内治療学) 歯周病と全身との関わりについて	岩下未咲	講義室6B
21回	11	18	水	1-3	(口腔インプラント学) インプラント治療の歴史や臨床の実際について解説し，当分野が進めている 荷重環境下におけるインプラント周囲の骨質研究を紹介する	澤瀬 隆	講義室6B
22回	11	24	火	1-3	(口腔インプラント学) インプラントに関連する生体材料について	尾立哲郎	講義室6B

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
23回	11	30	月	1-3	(歯科補綴学) 義歯ケア製品に関する解説や新製品の開発研究を含む、義歯補綴研究を紹介する	原田佳枝	講義室6B
24回	12	1	火	1-3	(保存修復学部門) 新素材を利用した低侵襲な接着性補綴および近未来の歯冠修復に関連する研究を紹介する	平　曜輔	講義室6B
25回	12	7	月	1-3	(保存修復学部門) 歯延命に向けた象牙質コラーゲンの役割と次世代型象牙質改質技術の展開	山田志津香	講義室6B
26回	12	14	月	1-3	(口腔診断・情報科学) シェーグレン症候群を対象とした画像研究およびAIの応用研究について 概説する	高木　幸則	講義室6B
27回	12	15	火	1-3	**予備日**		講義室6B
28回	12	21	月	1-3	(歯科麻酔学) 海外から見た我が国の歯科麻酔学の特殊性と最近の歯科麻酔学におけるトピックスについて概説する	讃岐　拓郎	講義室6B
29回	**12**	**21**	**月**	**4-6**	**(特別講義)** **長崎歯科衛生士専門学校との共修講義　※詳細は後日お知らせします**	**未定**	**未定**
30回	12	22	火	7-8	(基礎)歯学研究成果報告会	教務委員長	講義室3A
31回	1	4	月	1-3	予備日		講義室6B
32回	1	5	火	1-3	(総合歯科臨床教育学) 小児の口腔機能の発達	近藤　好夫	講義室6B
33回	1	12	火	1-3	(歯科麻酔学) オピオイドの耐性形成・痛覚過敏の分子生物学的機序についての研究と 最近の知見について	倉田　眞治	講義室6B
34回	1	18	月	1-3	(口腔顎顔面外科学) 口腔外科分野におけるクリニカルクエスチョンとサイエンスによる解決	山田朋弘	講義室6B
35回	1	19	火	1-3	**(口腔診断・情報科学)** **頭頸部腫瘍を対象としたMR機能画像解析研究およびAIの応用研究について解説する** **概説する**	**角　美佐**	講義室6B
36回	1	25	月	1-3	予備日		講義室6B
37回	1	26	火	1-3	予備日		講義室6B
38回	2	1	月	1	(教務委員長) 研究コース説明会	教務委員長	講義室6B

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
37回	1	26	火	1-3	予備日		講義室6B
38回	2	1	月	1	（教務委員長） 研究コース説明会	教務委員長	講義室6B